

入所者様の口腔内状況の把握と改善

【はじめに】

・栄養ケアマネジメントを実施する上で「口腔内の問題」があり、
栄養士を含め他の職種も口腔内状況について詳しく把握できてい
なかった



現状把握

- ・入所者様の口腔内状況は、入所判定書に記載されている情報を参考にしていた。口腔内を実際に見ていないため問題点の把握や適切な口腔ケア用品の選定ができていなかった
- ・口腔ケア用品の管理が出来ておらず、歯ブラシ交換の時期がバラバラだったり、ポリデントの在庫管理もあいまいだった

→施設全体で口腔内を問題視できていなかった



目的

- ・入所者様の口腔環境を把握し、口腔ケアの重要性を施設全体に広げ、入所者様の全身の健康を維持または改善を目的とする



方法

①口腔ケア委員の立ち上げ

- 目的：施設全体で口腔内問題に取り組むため
- 委員会メンバー：管理栄養士、看護師、介護士、リハビリ



口腔ケアについて、施設全体で取り組むことができるよう、口腔ケア委員を設置する。委員会メンバーは、各病棟から選出し委員会で出た議題や課題、決定事項を各病棟へ連絡し実行できるようにする。

方法

②施設にて歯ブラシ等の口腔ケア用品を購入または管理

- ・目的：口腔ケア用品の個別管理をするため



【管理ファイル】



【個別歯ブラシ】



【個別コップ】



【専用ケア用品】

方法

③外部協力歯科との連携を図る

- 目的：専門家の介入
- 入所時の検診
- 異常の早期発見



連携窓口は管理栄養士とし、歯科と病棟との連絡を確実に行う。
新規入所者様の口腔内状況を速やかに病棟へ連絡するとともに、家人了承のもと協力歯科へ無料検診を依頼し、問題点の早期発見及び必要な治療を実施する。

異常の一例（口腔内）



【黒毛舌】



【歯肉炎】



【舌苔】

異常の一例（義歯）



【歯石】

【すりへり】

【破損】

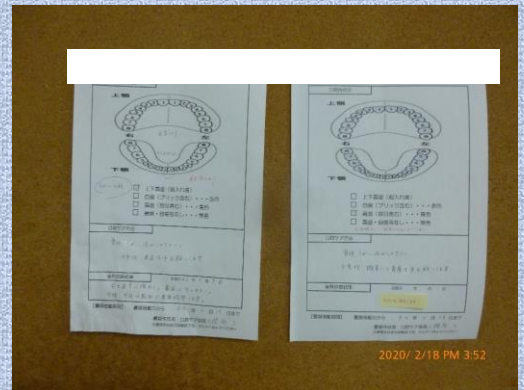


【カビ】

方法

④職員へ口腔内状況の報告

- 目的：入所者の口腔内状況の情報共有
- 義歯、自歯の有無
- 口腔ケア方法
- …など



方法

⑤ご家族へ口腔内状況の報告

- ・目的：入所者様の口腔内状況の説明
- ・歯科の口腔ケア報告書を渡す
- ・今後の歯科ケアの希望確認

[illegible]

方法

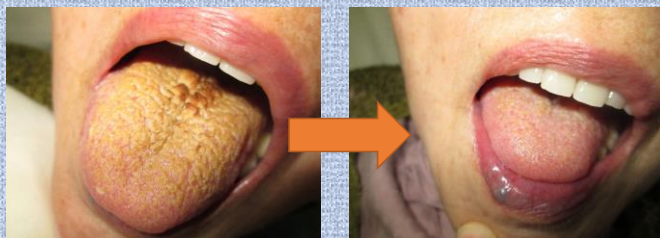
⑥口腔衛生管理加算の取得

- ・目的：口腔衛生管理加算を取得し、より専門的なケアを充実させるとともに職員の意識改革を広げる
- ・現在入所者様の68%の方が歯科による専門的なケアを受けている。その中で加算取得者は58%となっている

結果

- ・口臭の軽減
- ・口腔内状況の問題に早めに気づいて対処できるようになった
- ・食事摂取量の増加、栄養状態の改善
- ・他施設への転所時、栄養情報と共に正しい口腔内状況の情報を送ることができるようになった
- ・波及効果として、摂食嚥下に関わる分野にも職員が興味をもつようになった

結果②



【舌苔の改善】

- 舌ブラシを使用
- 1か月以内に改善



【歯周病の改善】

- 毎日の口腔ケア
- 歯科による専門ケア
- 数か月で徐々に改善